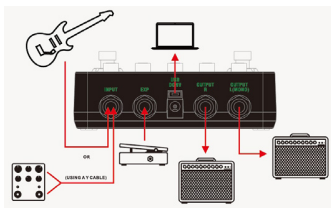


## 接続



ミキサーやオーディオインターフェースに接続する際は、出力ボリュームの操作に気をつけてください。出力レベルを操作して、ミキサーやオーディオインターフェースの入力段が歪まないようにしてください。

## ディスプレイ

電源を接続するとディスプレイに下のような表示が現れます。



- 1 - 現 bank/patch ナンバー
- 2 - エクスペッションペダルでコントロールしているパラメーター
- 3 - 現パッチで使用しているエフェクターが表示されます。

## Patch/Bank の選択

PATCH/TAP フットスイッチを操作するとパッチが変更できます。フットスイッチを押し続けると、パッチは 1, 2, 3, 4, 5、→ 1 と順に変わります。



2つのフットスイッチを同時に押すと次のバンクへ移動します。バンク A → B → A と移動します。



## タップテンポ

PATCH/TAP フットスイッチをホールドしてタップモードに入ります。セットしたいディレイタイムのテンポでフットスイッチを踏みます。そのテンポに合わせて TIME (ノブ) LED が点滅します。再度 PATCH/TAP フットスイッチをホールドすると、タップモードが解除されます。(タップモードからノーマルモードへ移ります。)

## GLOBAL (グローバル)

GLOBAL ボタンを押すと下の図のように input mode → exp pedal target → exp pedal range → exp pedal calib と切り替わります。



+/- ボタンでパラメーターを決め、SAVE/EXIT ボタンで設定を保存されノーマル表示に戻ります。(他の操作を 5 秒以上しないと自動的に保存されます)

## スペシフィックेशन

エフェクト : 24 種類  
パッチ数 : 10 (2 バンク x 5 パッチ)  
最長ディレイタイム : 4000msec  
AD/DA : 24-bit A/D/A  
サンプリングレート : 48kHz  
周波数特性 : 20 Hz-20 kHz  
S/N : Up to 110 dB  
入力インピーダンス : 1M Ω  
出力インピーダンス : 100 Ω  
電源 : DC 9V センターマイナス  
消費電流 : 200 mA 以上  
サイズ : 121mm(D)x72mm(W)x47mm(H)

## エディット

### 1. パラメーターの変更

本体の各コントロールノブでパラメーターが変更できます。ディスプレイに設定値が表示されます。



- 1 - 現設定値（表示は vol/ ボリューム）
- 2 - 保存されている設定値（PREV. = Previous value/ 前設定値）

### 2. エフェクトを選択する

+/- ボタンを使用して他のエフェクトを選びます。



ディスプレイ表示は図のように反転し、現パッチがエディット状態であることを示します。

### 3. エクスプレッションペダルの設定

エクスプレッションペダルでエフェクトのパラメーターがリアルタイムでコントロールできます。ディスプレイに図のような EXP PEDAL が表示されるまで GLOBAL ボタンを繰り返し押します。



E.LEVEL→A→B→DEPTH→RATE と +/- ボタンを押してコントロールするパラメーターを選びます。

注意：変更したセッティングを保存する前にパッチを変更すると、『変更』は保存されません。

## 保存

SAVE ボタンを押すと、以下のスクリーンが表示されます。



+/- ボタンで保存先を選択します。SAVE ボタンを押し保存を確認します。いずれかのフットスイッチを押すと、保存がキャンセルされてエディット状態へ戻ります。

## 入力モード

GLOBAL ボタンを押してインプットモードに入ります。



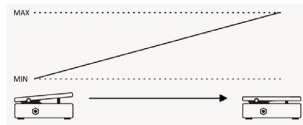
+/- ボタンで MONO、STEREO を選択します。STEREO モードで L 入力のみを使用すると、R 出力はミュートされます。

## エクスペンションのレンジとキャリブレーション

GLOBAL ボタンを 3 回 /4 回押してペダルの最小 / 最大のバリュレンジ（000 ～ 100）を決めます。



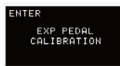
3 回（最小バリュー） 4 回（最大バリュー）



- 最小バリューは最大バリューより大きな値には設定できません。
- パッチ毎には変わらないグローバル設定です。設定は自動的に保存されます。

エクスプレッションペダルは必要であればキャリブレーション（目盛り定め）が可能です。ペダルの変化がエフェクトコントロールにスムーズに反映されない場合は、以下の方法で調整することができます。GLOBAL ボタンを 6 回押します。

+ ボタンを押して“HEEL POSITION”を表示してキャリブレーションを始めます。



ペダルをヒールポジションにセットしてから、もう一度 + ボタンを押すと TOE POSITION が表示されます。



ペダルを踏み込んでトゥポジションにしてから + ボタンを押し完了です。完了すると“CALIBRATION COMPLETE”と表示され、図のように表示が切り替わります。



“PLEASE TRY AGAIN”が表示されたら、“HEEL POSITION”から繰り返し行います。

## エフェクトのリスト

収録されているモジュレーションのリストは、Web上でPDF公開しています。

下記よりダウンロード閲覧していただけます。

<http://allaccess.co.jp/hotone/binarymod/>

## Binary Editor

ソフトウェアのダウンロード:

<http://allaccess.co.jp/hotone/binarymod/>

USBケーブルを使用してコンピューターと接続し、プリセット管理やパラメーター設定がPC (or Mac)上で行えます。PC上で操作したプリセットはコンピューターに保存できます。それらのプリセットを本体ヘインポート／エクスポートも可能です。

## 主な仕様

- XTOMP のテクノロジーを採用したファミリーモデル
- コンパクトな 2 スイッチング機能付きアンプシミュレーターペダル
- HOTONE 独自の CDCM モデリングによるリアルなブレイングエクスペリエンスを約束するエミュレーション
- デュアル DSP プラットフォームが導く高いサウンドクオリティ
- 110dB S/N 比を実現した 24-bit A/D/A 変換
- 24 種類の CDCM ベースの名機のシミュレーション & HOTONE ディレイアルゴリズム
- タップ機能
- ステレオ入出力
- エクスプレッション機能
- 10 プリセット
- 白色 OLED ディスプレイを採用
- 5 LED 付きコントロールノブ
- 9V DC 電源駆動
- ファームウェアのアップデート、アルゴリズムのロード & マネージメントが可能な Free PC/Mac ソフトウェア等が可能な USB ポートを装備。

## 株式会社HotoneJapan

お問い合わせ：

一般のお問い合わせ：ホームページ内の「お問い合わせ」ページよりご連絡ください。

商品の修理について：ホームページ内の「修理について」ページよりご連絡ください。